JA長野厚生連
北信総合病院
2024.1.1
Vol.94

北信総合

\これからもずっと、地域とともに。/

病院だより

新年のご挨拶
2024年も地域の健康を支えます。(2-3ページ)

研修医 お陰様で順調に成長しています！(4-5ページ)
防災訓練 全職員が頑張りました！(6-7ページ)
病院祭 ご参加ありがとうございます！(8-9ページ)
夜間診療 救急外来＆救急搬送レポート(10ページ)

病院祭で大人気だった
餅つき＆餅の配布

当院で医師としての
実践力を磨く研修医たち

夜間に救急搬送された患者さんの処置をする看護師

防災訓練を視察した関副知事(中央)と湯本市長(左)をヘリポートへご案内

JA長野厚生連 北信総合病院
統括院長
荒井 裕国（あらい ひろくに）

明けましておめでとうございます。

2023年は、新型コロナが5類に移行となり、世の中がようやくポストコロナに本格的な舵取りをした節目の年でした。コロナ禍の3年間に当院で行われたワクチンの集団接種は延べ27,500人、発熱外来で診た患者さんは23,000人、コロナ患者さんの入院受け入れは1,100人にものぼりました。

2024年4月からは、「医師の働き方改革」が始まります。限られた労働時間の中で医師が病院でなければ対応できない患者さんの診療に注力するための一つの解決策として、国は地域の中核病院が紹介受診重点医療機関に移行することを推奨しています。つまり中核病院は診療所から紹介を受けた患者さんの治療に重点化するという考え方ですが、他の地域に比べて診療所医師数が極端に少ない北信地域に、これをそのまま当てはめることは難しく、行政を交えた地域医療構想調整会議の場で引き続き協議されていくこととなります。

一方で、当院が地域の中核病院として医療のレベルを維持するためには、高度医療機器の整備も欠かせません。今年は、放射線治療機器のリニアックや血管造影装置の老朽化に伴う機器の更新を行わねばなりませんが、これには数億円規模の大型予算が必要となります。こうした財源を自助努力のみで確保することは難しく、行政からのご支援もお願いしているところであります。

さて、世界情勢は紛争の火種が絶えません。遠い国で起こっている生々しい悲惨な映像が日々のニュースで伝えられ心が痛み、つくづく平和の有難味を実感いたします。昨年は、この中野市でも痛ましい事件が起こりました。当院としては、事件当初の救急医療に加え、市民の皆さま、ならびに自らの身の危険の中で人命救助に携わった消防隊員の方々の心的外傷後ストレス(PTSD)に対する心のケア活動を、行政と連携して数ヶ月にわたり行いました。今年こそ、世の中が少しでも平和で安寧となることを願ってやみません。

今年は辰年。「辰」というのは、草木が成長し、形が整った状態を表すとされていて、「動いて伸びる」とか「整う」という意味があるそうです。当院も「辰」の如くソフト面とハード面で病院の形を整え、地域とともに成長していくことをめざしてまいりますので、引き続き皆さま方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2023年10月に実施した防災訓練では災害対策本部で指揮をとった荒井統括院長（左）と山嵜病院長（右）

ご挨拶

JA長野厚生連 北信総合病院

院長 **山嵜 正志**（やまざき まさし）

明けましておめでとうございます。今年は医療界に大きな波がいくつか押し寄せてきます。一つ目は「医師の働き方改革」です。建設業、運送業、医師は他業種と違い5年間猶予されてきましたが、今年の4月からスタートとなります。医師の過重労働の法的制限が整備されます。具体的には年間の時間外労働の上限は960時間を基本とし、条件により1,860時間まで可であったり、連続28時間勤務も可などの特例だらけになっています。当院でも医師の働きの負担を減らしつつも、診療の質は落とさないよう努力しなければなりません。特に救急や専門性を必要とする医療は当院の使命でもあり、より重点的に対応してまいります。ただ一般外来診療では、基本的に病状が落ち着いている方の日常診療はかかりつけの先生にみていただき、当院での診療が必要時にかかりつけの先生からご紹介いただくようお願いしたいと思います。

次に新型コロナ関連で、4月から新型コロナの診療やワクチン接種に関する国の補助は終了する可能性があります。その他、高額医療機器の購入や診療報酬の6年に一度のトリプル改定の年でもあります。押し寄せて来る波を乗り越えながら、責務である地域住民の皆さまの健康を守り、維持していくために邁進してまいります。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

北信総合病院 老人保健施設もえぎ

施設長 **下山 丈人**（しもやま たけと）

明けましておめでとうございます。昨年も当施設『老人保健施設もえぎ』を多くの皆さまにご利用いただきありがとうございました。また、ご家族や地域の皆さまにおかれましては常日頃から当施設を支えていただき大変感謝しております。昨年、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されてからも新型コロナウイルス感染症の脅威は衰えることはなく、当施設におきましても初めての集団感染が発生し、当施設で感染されたご利用者様の治療を経験させていただきました。そのような状況ではありますが、面会制限の緩和や入所前検査の廃止などwithコロナの暮らしへの対応も着実に進んでおり、徐々に今までの生活様式に戻りつつあるものと信じています。

我々は今年も皆さまのご意見に基づき、職員一同が一層の努力を積み重ね、ご利用者様やご家族様並びに地域の皆さまにとってより良い施設をめざしていきたいと考えております。今年が皆さまにとって良い年となりますように、そして、今年こそ新型コロナウイルス感染症の脅威がなくなる日々が来ますようにと願っております。どうか今年も『老人保健施設もえぎ』をよろしくお願いいたします。

北信総合病院附属 北信州診療所

所長 **曽根 進**（そね すすむ）

＋スタッフ一同

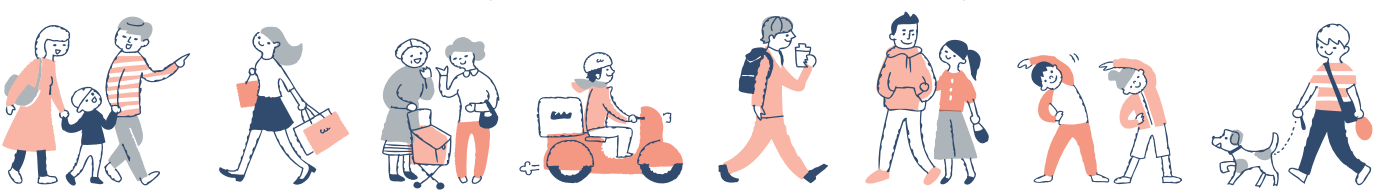
新しい年にあたり、ご挨拶を申し上げます。

昨年はようやくコロナによる特別な行動制限がほぼなくなり、以前のように自由に社会活動ができるような情勢となってきたことを実感できました。

しかし、日本人もこの3年間で相当なストレスを受け、頑張る気力や寛容さがだいぶ失われた気がします。思いもよらない事故や、考えたくないような事件の話を聞くことが増えたような気がします。このようなときだからこそ、思いやり、お互いさまの心を大事にして、助け合いのできる優しい社会であってほしいものです。

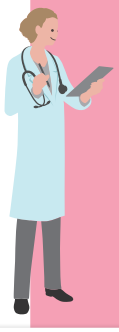
今年も、地域の皆さまの健康増進と末永く元気で暮らせる社会づくりのお手伝いをすることを基本理念として、「気軽に相談できる地域の診療所」を心がけて、来院してくださる皆さまのニーズに合わせ、「笑顔」で、職員一同努力してまいりたいと存じます。

皆さまにとっても、この新しい年がより良き年になりますよう心より祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



研修医Q&A

当院の研修医をご紹介します。



- Q1 当院を研修先に選んだ理由
- Q2 当院で学びたいこと
- Q3 患者さんやご家族とのエピソード
- Q4 当院スタッフとのエピソード
- Q5 気分転換法や休日の過ごし方
- Q6 当院周辺のおすすめスポット

研修医とは？：医師国家試験に合格して医師免許を取得後、医師としての基本的な技術と知識を習得中の医師です。

防災訓練の赤エリアで診療の訓練をする小林諒太研修医

池田剛志（いけだ たけし）

A1 金沢で大学６年間過ごし、北信越地域で研修先を探していた際に総合診療外来研修を行なっている当院を初めての研修先に決めました。A2 研修では多くの症例を経験するとともに、それらの初期対応と他科との連携について学びたいと考えています。A3 研修中に印象的だったエピソードは、外科で研修している際に担当させていただいた患者さんが、救急研修中の外科日直で受診されました。主訴は入院中のものとは関係なかったですが担当させていただいていたことを覚えていただいており、その後の診療が非常にスムーズであったことが印象に残っています。A4 当直中に命に係わる状況で搬送された患者さんに対して、薬剤師、当直帯医師、看護師と多職種で連携を取りながら救命に取り組んだことが印象に残っています。A5 病院のまわりには自然豊かで温泉も多いため、ドライブや温泉に行ったりしています。A6 まだまだ知らないので、むしろ教えてほしいです！

小林諒太（こばやし りょうた）

A1 私は中野市の奨学金制度を利用しており、北信総合病院では研修医のうちから総合診療科外来で経験を積めるので選びました。A2 研修ではどこの科に進むにしても最低限必要な知識と技量を身につけたいです。A3 救急外来でファーストタッチを担当した患者さんがそのまま手術となり、後日お礼の言葉をいただいたときのことが感慨深く印象に残っています。A4 初めての救急車対応のときに何をすれば良いか分からず立ち尽くしていましたが、上級医の先生、まわりのスタッフの方がサポートしてくださったことが印象に残っています。A5 最近のマイブームは筋トレ、サウナです。筋トレは自宅で行なっていますが、妻の許しが出ればジムに通いたいと考えています。サウナは、私が大学６年生のときに臨床実習で北信総合病院に来ていた際、とある先生に連れられてサウナに行ったことがはまるきっかけとなりました。あとはもっぱらNetflixやYouTubeを観てゴロゴロ過ごしています。A6 ぽんぽこの湯やあけびの湯がおすすめです。

手皮大貴（てび だいき）

A1 出身大学の教員の紹介で最初の研修施設として北信総合病院を選びました。A2 研修では医師としての基本的な能力を身につけたいと思います。A3 診察を担当した方からお手紙をいただいたことが印象に残っています。A4 総合診療科外来では、看護師の方々からの指摘に助けられることがあります。A5 気分転換法はとにかく長時間眠ることです。A6 病院の近くにある「信州中野いきいき館」という施設が個人的に気に入っています。

防災訓練で急病人対応の訓練をする手皮大貴研修医

研修医紹介

芳賀右京（はが うきょう）

A1 当院を研修先に選んだのは総合診療科の外来研修に力をいれており、さまざまな疾患を経験でき、幅広く学ぶことができそうと感じたからです。**A2** 研修では内科疾患全般にてついての診療や手技を学びたいと思います。**A3** 初めて受け持った患者さんが退院する際にお礼を言ってくださったときに自分が医者になったことの実感がわきました。**A4** 医師、看護師、職員の皆さんにはさまざまな場面で優しく指導していただいたり、助けていただいたりしています。**A5** 休日はキャンプに出かけたり、近くの温泉に行ったりしてます。**A6** 近くにスキー場や温泉がたくさんあります。

夜間の救急外来で救急搬送された患者さんの処置をする芳賀右京研修医

橋渡智也（はしど ともや）

A1 東京医科歯科大学病院で１年目の研修医として過ごした後に、北信総合病院を次の研修施設として選びました。当院を選んだ理由は週一回総合診療科外来を経験できるからです。**A2** 研修ではさまざまな外来の対応を学びたいと考えています。**A3** 患者さんとのエピソードは、救急外来で患者さんのご家族に、患者さんが重い病気であることを告げたときに、ひどくショックを受けていた様子を見て、医師という仕事の重みを感じました。**A4** 随所で看護師の皆さんに助けていただいており、それがとてもありがたいです。**A5** 戸隠キャンプ場へ行ったりしています。**A6** このエリアは大変住みやすく、フルーツをはじめ食べ物もおいしいところが魅力です。また周辺に色々なタイプの温泉があり、巡る楽しさがあります。

橋渡七奈子（はしど ななこ）

A1 東京医科歯科大学での１年間の研修を終えて、外来研修に重点を置いている当院を研修先に選びました。**A2** 入院以外の側面にも深く関わることができるので、そこを学んでいきたいです。**A3** いつもお待たせしてしまうことが多い研修医診療ですが、患者さんに「こんなに丁寧に話を聞いてもらったのは初めてです」と言ってもらえたことが、うれしかったです。**A4** 看護師さんや医療スタッフの皆さんからも、「この仕事は私たちがやっておくから、先生は患者さんを診てください」などと医師の役割分担に配慮してサポートしてくださるのでとても助かります。**A5** 自然に包まれに行ったり、温泉に行ったりします。**A6** 戸隠キャンプ場や箱山温泉がおすすめです。

防災訓練のトリアージエリアで治療優先度を決める訓練をする橋渡七奈子研修医

宮川岳大（みやがわ たけひろ）

A1 2022年３月に藤田医科大学を卒業後、同４月より当院で研修開始しました。実家が須坂市で中野市にも馴染みがあり、ウィンタースポーツを行う環境に恵まれているため、当院を研修施設に選びました。**A2** 研修では医学的知識はもちろんですが、特に患者さんや他職種との関わり方を学びたいと考えています。**A3** 研修中に担当患者さんから「先生で良かった」と言われた時は特にやりがいを感じました。また、患者さんが落ち込んでいた時に、とある一言を伝えると、ほっとした表情で「嬉しい、これで明日からもまた頑張れる」とおっしゃっていました。長いトンネルに僅かながらも光が差し込んだ瞬間だったのだと思います。上手く言葉にはできませんが、その時の患者さんの表情や声は今でも忘れられません。**A4** とても忙しい総合診療科の外来や当直業務が終わった時、上級医や看護師さんと「お疲れ様でした」「ありがとうございました」と声を交わす時はいつも、開放感も相まってか達成感を特に感じます。**A5** YouTubeやNetflixを観ています。**A6** 志賀高原やおぶせ温泉がおすすめです。

荒井統括院長を本部長とする災害対策本部の設置と運営

令和５年度長野県総合防災訓練

災害時も「頼りになる病院」であるために全職員が真剣に取り組みました！

ドクターヘリによる患者搬送、収容

重症者を診療する赤エリア

災害派遣精神医療チーム（DPAT）の活動

トリアージなど診療エリアを統括する診療指揮本部

病院の被害状況、空床状況をまとめる情報収集班

中等症、軽症を診療する黄エリア

各エリアに傷病者を搬送する搬送班

大地震発生、土砂災害で多数傷病者発生という想定で実施

10月22日（日）に令和5年度長野県総合防災訓練が19年ぶりに中野市で開催されました。災害拠点病院である当院は、多数傷病者の受け入れ訓練を実施しました。

訓練想定は大雨による千曲川の増水が前日から続く中、長野盆地西縁断層帯を震源とする（マグニチュード6.8）の地震が発生し、中野市内で最大震度6強を観測、土砂災害が発生、市内の建物が倒壊し多くの負傷者が発生した想定で行われました。

重症度を判別するトリアージエリア

災害対策本部設置運営とトリアージ方法なども確認

荒井統括院長を本部長とする災害対策本部を院内に設置、職員約160名が市内の多くの傷病者を受け入れるため重傷者を選別するトリアージエリア、重症者を診療する赤エリア、中等症、軽度の傷病者を診療する黄エリア、緑エリアを迅速に設置、運営し、傷病者31名の収容と診療にあたりました。また当院の長野県災害派遣医療チーム（DMAT）1隊が土砂災害現場での傷病者の診療活動のため救急車輌で出動しました。

当院DMATの災害現場での救護活動

保健福祉事務所、中野市、医師会、消防本部と連携

病院災害対策本部には長野県北信保健福祉事務所、中野市、中高医師会、岳南広域消防本部等の医師、看護師、職員が駆けつけ当院と地域の救急医療体制の構築を図りました。さらに県の指示により参集した長野県災害派遣医療チーム（DMAT）、長野県災害派遣精神医療チーム（DPAT）も当院に活動拠点本部を設置し、多くの医療チームが診療にあたりました。信州ドクターヘリにより傷病者2名を当院へリポートへ搬送し、医師、看護師が診療にあたりました。

模擬記者会見訓練を実施

いざというときのために訓練は継続実施すべき

訓練に参加した職員からは「感染拡大防止のため実動訓練はここ数年やっていなかったが、実動訓練はやはり必要、手順が再確認できた。」「いざというときに備え、こうした訓練は継続して取り組むべきだ」などの声が聞かれました。北信総合病院は地域の機関と連携し、これからも平時から災害時も地域住民の皆さまの医療を守る取り組みをすすめてまいります。

患者役には県須坂看護専門学校の学生38名にご協力していただきました。

第60回病院祭レポート

皆さんと共に歩む地域医療の未来へ

2023年11月11日(土)、第60回病院祭が開催されました。その様子を写真とともにご紹介します。

1,631人の笑顔にありがとう!

コロナ禍で中止が続いていた病院祭でしたが、楽しみにしてくださる地域住民の皆さんと、喜ぶ笑顔を見るのが大好きな当院職員たちの開催を待ち望む声が集まって4年ぶりの開催が実現し、肌寒い天候でしたが太陽も顔を出し、1,631人もの来場者に恵まれました。

救急車、ドクターヘリに子どもたちは夢中!

スタートの開会式では華々しくテープカットが行われました。病院祭らしい企画として子どもたちに人気だったのは消防車・救急車・CT検診車の見学やドクターヘリの見学です。たくさんのファミリーが興味津々で車内・機内を見学しながら職員に質問する姿が頼もしく見えました。

いろいろな診療科が工夫を凝らして参加

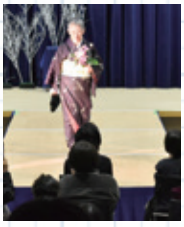
外来病棟では各診療科のパネル展示や体験コーナーも設置され、看護師の仕事に興味を持つ子どもたちのために看護師姿で急病人の看護を体験するコーナーが人気でした。他にも骨密度測定や体脂肪測定等の検査コーナーも大変な賑わいとなりました。

病院祭

がん医療、地域医療の今を学ぶ講演

公開講座では荒井統括院長が「皆さんと共に歩む地域医療の未来へ」というテーマで講演し、地域がん診療病院市民公開講座では篠原外科医長が「乳がん診療の最前線～一人ひとりに合った治療法を求めて～」というテーマで講演しました。

和太鼓、バンド、モデル顔負けのランウェイウォークも



催し物会場では、シニア＆キッズファッションショーや誠拳会による空手演武が行われました。正面駐車場のお祭り広場では、豊田故郷太鼓や和太鼓「一道」、太鼓クラブ若鷹による和太鼓演奏や、信州スパパラダイスオーケストラによるミニライブが行われました。

人気の餅つき＆お餅のふるまいには長蛇の列も！

労働組合主催による恒例の餅つきや、お餅の振る舞いには長蛇の列となりました。子どもたちへの企画は射的やポップコーンなどの無料配布を行いました。ＪＡによる農産物販売は午前中に完売となり、地域のキッチンカーによる出店は大盛況でした。

天候に左右されるドクターヘリの見学会も開催ができ、企画したすべてのイベントは無事終了しました。

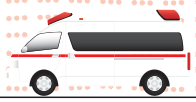
お礼のメッセージ

病院祭実行委員会事務局　**山田善康**

第60回病院祭は、中野市えびす講にあわせ11月11日（土）に４年ぶりに開催しました。当院では新型コロナウイルス感染症の最前線で戦う中、諸先輩らが築き上げた歴史ある行事をコロナ前に戻すことを目標に準備を進めてまいりました。あいにく前日から朝方まで雨降りと強風の悪天候でしたが、開催式のファンファーレが鳴り響き、テープカットとともに曇り空から一転、日差しが差しこみ病院祭を歓迎してくれるようでした。今年度のテーマは「皆さんと共に歩む地域医療の未来へ～北信総合病院ならできる～」としましたが、地域の未来を担うファミリーや子どもたちが喜ぶ姿に触れることができ、職員の「北信総合病院ならできる」という自信につながったと確信しています。

このたびの病院祭が成功裏に開催できましたことは、ＪＡならびに行政をはじめ、岳南広域消防本部、社会福祉協議会等関係各位の皆さま方のご支援、そしてご参加くださった地域住民の皆さまのご協力によるものであり心より感謝を申し上げます。

24時間、365日、休むことなく地域住民の命と健康を守っています！



当院では昼夜を問わず、救急搬送を受け入れています。
今回は夜間の救急外来と救急搬送の様子をご紹介します。

2023年冬のある夜、この日の夜間救急外来を担当するのは医師（外科・内科・研修医）３人、看護師３人です。

夜８時頃、家族に連れられて高齢男性が体の痛みを訴えて救急外来に到着しました。インフルエンザやコロナウイルスの感染がないことを確認してから診察室へ。その後すぐに呼吸が苦しいと訴える高齢男性が救急外来に到着し、別の診察室へ。夜11時頃には骨折の高齢女性が救急車で搬送され、深夜１時頃には40℃を超える発熱とけいれんで乳児が救急搬送で到着。苦しそうに泣く赤ちゃんの声に心が痛みます。小児科の先生、看護師さんたちも「辛いね、頑張ろうね」と優しく声をかけます。深夜にも救急外来を訪れる患者さんは途切れることがなく、医師・看護師は眠る時間もなく治療を続けていました。朝７時前には発熱と呼吸苦の高齢男性が救急車で運ばれてきました。この患者さんの処置を終えて夜間勤務がようやく終了しました。忙しく慌しい一夜だったと感じましたが、実はこの夜は来院する患者さんも救急搬送も少なく落ち着いていたそうです。現在は救急科の医師が在籍していませんが、各診療科の医師と研修医が当番制で運営中です。

体の痛みを訴える患者さんの処置をする
外科当直医師と看護師

骨折で救急搬送された高齢女性の処置をする
看護師と救急隊員

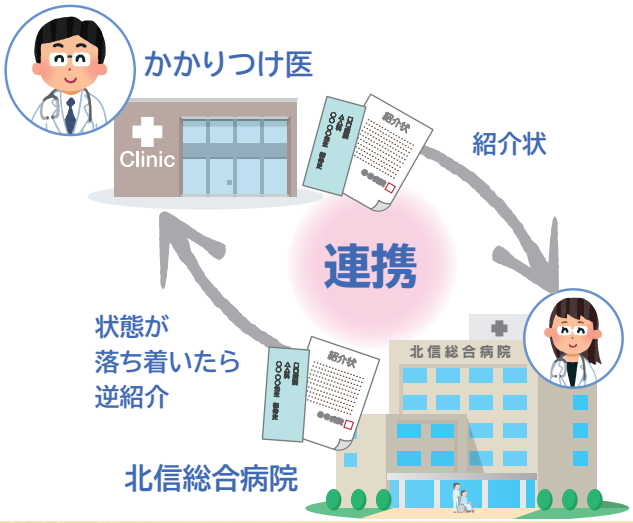
深夜、凍りつく寒さの中、救急車が到着

早朝に呼吸困難で救急搬送された高齢男性の処置をする看護師と救急隊員

救急外来は緊急性がある症状の場合のみ利用するようにして、救急車を呼んだが方がいいか、今すぐに病院に行った方がいいかなど、判断に迷うことがあれば、＃7119（救急安心センター）に電話してご相談ください。当院の救急外来を受診する場合は、健康保険証、通院券（お持ちの方）などを持参し、救急受付（外来診療棟１階Ｄブロック）にお出しください。また救急外来では診察前に看護師が症状をうかがい、緊急度・重症度などを判断し、より早期に治療を要する患者さんから診察を行いますのでご了承ください。

紹介受診重点医療機関について

紹介受診重点医療機関は、外来機能の明確化・連携を強化し、患者さんの流れを円滑にするために都道府県ごとに決定される医療機関です。患者さんがまず地域の「かかりつけ医」（かかりつけ医機能を担う医療機関）を受診し、必要に応じて紹介を受け、紹介受診重点医療機関を受診します。その後、状態が落ち着いたら逆紹介を受け地域のかかりつけ医に戻る流れを明確にするのが目的です。



当院のある北信医療圏は、ほかの地域に比べ診療所の医師が著しく少ないため、どのような疾患でも地域の医療機関より先に病院を受診する人が多い傾向にあります。まずは「かかりつけ医」をつくり、必要に応じて紹介を受け専門的な医療を受けていただくことをおすすめします。今後当院は、**外来機能の明確化・連携を強化し、患者さんの流れを円滑にするため紹介受診重点医療機関をめざします。**

みなさんも、
かかりつけ医をもちませんか？

POINT 1 「かかりつけ医」とは

❶健康に関することを何でも相談できる。
❷必要なときは専門の医師・医療機関を紹介してくれる。
❸身近で頼りになる医師です。

POINT 2 「かかりつけ医」をもつメリットは？

❶日頃の健康状態を知ってもらえます。
❷症状に応じた専門家の紹介がスムーズです。
❸病気の予防や早期発見・早期治療にもつながります。

このほかにも、些細なことでも健康状態の変化を話しやすかったり、「どうするとよいか」適切な判断を知ることができたり、家族の健康についても相談しやすく安心です。

POINT 3 一方、病院受診の際には、

●紹介状により治療経過・処方内容が事前に分かるため、長い待ち時間が解消され診療がスムーズに行われます。

●発行日：令和6年1月1日発行
●発行人：荒井 裕国
●編集：北信総合病院広報委員会
●印刷：PO印刷株式会社

発熱があったときの行動

発熱等の症状があって新型コロナウイルス感染を疑う場合、**必ずしも受診が必要というわけではありません。**以下の指針に従っての行動をお願いします。

発熱等の風邪の様な症状がある。

症状が軽く、重症化リスクも低い。

市販の抗原検査キットによる自己検査をご検討ください。

検査結果陽性の方　陰性の方

風邪と考えて療養してください。

症状が悪化したら、診察が必要

重症化リスクが高い(※1)または症状が重く(※2)受診を希望

(※1)重症化リスクが高いとは?

- 65歳以上 ●喫煙歴 ●肥満 ●高血圧 ●糖尿病
- 脂質異常症 ●慢性腎臓病 ●心血管疾患
- 脳血管疾患 ●悪性腫瘍 ●慢性呼吸器疾患(COPD等)
- 臓器移植既往、免疫抑制剤／抗がん剤等の使用
- 妊娠末期

(※2)症状が重いとは?

- 水分が飲めない。●ぐったりして動けない。
- 呼吸が苦しい、呼吸が速い。

まずはかかりつけ医やお近くの開業医、医師会の休日診療所にご相談ください。
症状が重く、入院が必要とされるような場合はかかりつけ医等からの紹介で北信総合病院で対応いたします。

自宅で療養してください。
市販の解熱剤や咳止めなど使用可能です。

以下の2つの条件を満たすまで通勤や通学を控えていただくことをお勧めします。

❶発症後5日間を経過するまで(発症日を0日として数える)。
❷熱が下がりのどの痛みなどの症状が治まって24時間経過するまで。
※発症後10日程度はウイルスを排出している可能性があります。
周りの方にうつさないような配慮をお願いします。

北信総合病院では本年、入院患者さんが非常に多く慢性的にベッドが不足しております。
地域の医療体制を維持するため、患者さんそれぞれの症状に合った受診先の選択をお願いいたします。

参考：長野県ホームページ、新型コロナウイルス感染症対策 総合サイト

病院だよりリニューアルしました！

このたび、新しい年を迎えるとともに北信総合病院だよりをリニューアルしました。右記QRコードからアクセスしていただき、ご意見・ご感想をお聞かせください。

JA長野厚生連 北信総合病院
〒383-8505 長野県中野市西1丁目5番63号 TEL:0269-22-2151 FAX:0269-22-2426
https://www.hokushin-hosp.jp/

北信総合病院 検索